おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心）

運用報告書（全体版）

第８期（決算日　2025年１月31日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心）」は、2025年１月31日に第８期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年３月１日）	
運用方針	「おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心）」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年１月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お金のデザイン

東京都中央区新川１丁目17番21号

＜照会先＞
電話番号：03-6629-7090
(受付時間：委託会社の営業日の９：30～17：00)
ホームページ：https://www.money-design.com/

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
４期(2021年２月１日)	10,945	0	0.2	100.0	295
５期(2022年１月31日)	11,663	0	6.6	99.7	424
６期(2023年１月31日)	11,746	0	0.7	99.4	537
７期(2024年１月31日)	13,761	0	17.2	98.7	764
８期(2025年１月31日)	14,945	0	8.6	98.0	939

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期　首）	円	%	%
2024年１月31日	13,761	－	98.7
２月末	13,944	1.3	98.9
３月末	14,158	2.9	98.6
４月末	14,471	5.2	98.9
５月末	14,566	5.8	99.1
６月末	15,126	9.9	99.1
７月末	14,498	5.4	99.1
８月末	14,034	2.0	98.9
９月末	14,012	1.8	98.8
10月末	14,783	7.4	99.2
11月末	14,609	6.2	98.0
12月末	15,142	10.0	97.8
（期　末）			
2025年１月31日	14,945	8.6	98.0

（注）騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年２月１日～2025年１月31日）

期中の基準価額等の推移

期　首：13,761円
期　末：14,945円(既払分配金(税込み)：0円)
騰落率：　8.6%(分配金再投資ベース)

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2024年１月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、＋8.6%となりました。

当ファンドは、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、基準価額にはプラスとなりました。また、ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、短期ハイイールド債、シニアローン債、米ドル建投資適格社債などが主なプラスとなりました。

投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、＋1.1%となりました。一方、米ドル円レートは＋4.7%の米ドル高となりました。

期初から2024年４月にかけて、欧米では、好調な景気指標やインフレ高止まりなどを受けて金利が上昇傾向となりました。日本では、欧米の金利上昇に加え、日銀による金融緩和策の正常化観測などを背景に金利が上昇しました。３月の日銀金融政策決定会合では金融緩和策の解除が決定されました。５月から９月にかけては、ECB（欧州中央銀行）による利下げの決定や、米国においてインフレ鈍化が示されたこと、景気後退懸念により株価が一時急落したことなどから、米国や欧州の長期金利が低下しました。日本では、日銀の金融政策の動向をにらみつつ、金利はもみ合いとなりました。10月以降は、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測が後退したことや、インフレ的な政策を掲げるトランプ氏が米国大統領選挙で勝利したことなどを受け、米国の金利は上昇基調となりました。欧州では、ECBによる利下げ観測などを背景に金利が低下する局面があったものの、ユーロ圏のインフレ高止まりや米国金利上昇などを背景に金利は上昇しました。日本では、欧米の金利上昇に加え、日銀の利上げ観測などを背景に金利が上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項目	第８期 2024年２月１日～ 2025年１月31日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,945

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の高金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2024年２月１日～2025年１月31日）

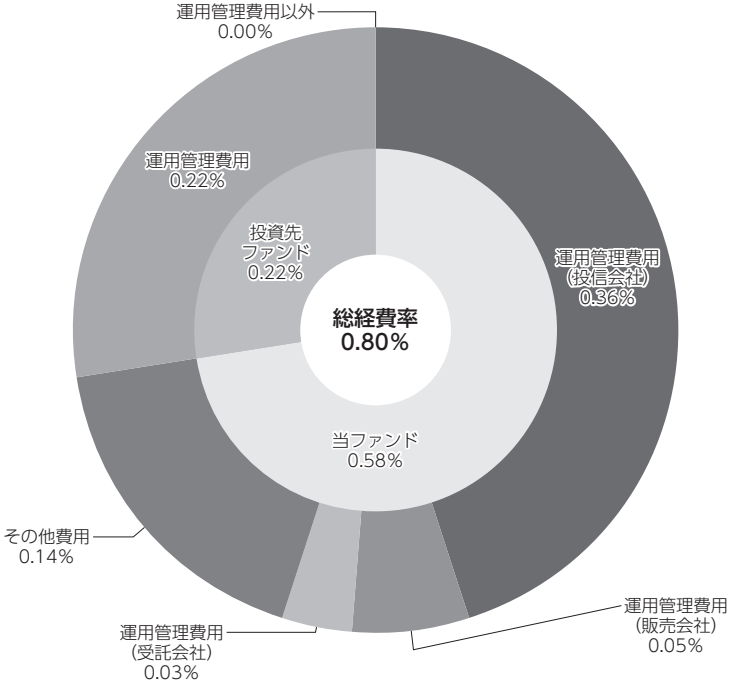
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	63	0.440	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(52)	(0.358)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(8)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.037	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(5)	(0.037)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	21	0.145	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(5)	(0.035)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(11)	(0.076)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	89	0.623	
期中の平均基準価額は、14,425円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.80%です。



（単位：%）

総経費率(①+②+③)	**0.80**
①当ファンドの費用の比率	0.58
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年２月１日～2025年１月31日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	106,946	161,137	39,748	59,630

○利害関係人との取引状況等

（2024年２月１日～2025年１月31日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年２月１日～2025年１月31日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2025年１月31日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	535,131	602,329	939,574

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2025年１月31日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	939,574	99.6
コール・ローン等、その他	3,427	0.4
投資信託財産総額	943,001	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）において、当期末における外貨建純資産（3,700,398千円）の投資信託財産総額（3,773,374千円）に対する比率は98.1%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝154.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年１月31日現在)

項　　目	当　期　末
	円
(A) 資産	**943,001,379**
コール・ローン等	2,598,176
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）（評価額）	939,574,398
未収入金	828,805
(B) 負債	**3,426,981**
未払解約金	979,291
未払信託報酬	1,958,192
その他未払費用	489,498
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	**939,574,398**
元本	628,683,517
次期繰越損益金	310,890,881
(D) 受益権総口数	**628,683,517口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**14,945円**

（注）当ファンドの期首元本額は555,540,067円、期中追加設定元本額は120,423,707円、期中一部解約元本額は47,280,257円です。

（注）１口当たり純資産額は1.4945円です。

○損益の状況　(2024年２月１日～2025年１月31日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 有価証券売買損益	**70,743,838**
売買益	74,144,373
売買損	△　3,400,535
(B) 信託報酬等	**△　4,689,223**
(C) 当期損益金（Ａ＋Ｂ）	**66,054,615**
(D) 前期繰越損益金	**116,029,582**
(E) 追加信託差損益金	**128,806,684**
（配当等相当額）	（　96,300,627）
（売買損益相当額）	（　32,506,057）
(F) 計（Ｃ＋Ｄ＋Ｅ）	**310,890,881**
(G) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金（Ｆ＋Ｇ）	**310,890,881**
追加信託差損益金	128,806,684
（配当等相当額）	（　96,980,740）
（売買損益相当額）	（　31,825,944）
分配準備積立金	182,084,197

（注）損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（36,781,480円）、費用控除後の有価証券等損益額（29,273,135円）、信託約款に規定する収益調整金（128,806,684円）および分配準備積立金（116,029,582円）より分配対象収益は310,890,881円（１万口当たり4,945円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）

運用報告書

第８期（決算日　2025年１月31日）
（2024年２月１日～2025年１月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年３月１日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

お金のデザイン

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
4期(2021年２月１日)	11,179	0.8	100.0	619
5期(2022年１月31日)	11,977	7.1	99.7	1,185
6期(2023年１月31日)	12,130	1.3	99.4	1,642
7期(2024年１月31日)	14,286	17.8	98.7	2,589
8期(2025年１月31日)	15,599	9.2	98.0	3,772

（注）当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	%
2024年１月31日	14,286	－	98.7
２月末	14,482	1.4	98.8
３月末	14,711	3.0	98.5
４月末	15,043	5.3	98.8
５月末	15,148	6.0	98.9
６月末	15,736	10.1	98.9
７月末	15,092	5.6	99.1
８月末	14,615	2.3	98.8
９月末	14,599	2.2	98.8
10月末	15,409	7.9	99.1
11月末	15,234	6.6	97.8
12月末	15,797	10.6	97.6
（期末）			
2025年１月31日	15,599	9.2	98.0

（注）騰落率は期首比です。

○運用経過

（2024年２月１日～2025年１月31日）

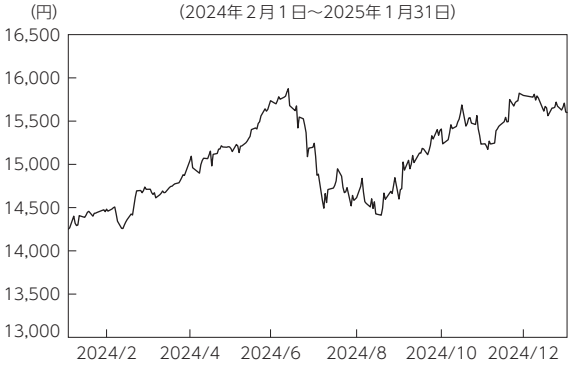
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、＋9.2%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価格に反映されます。当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、基準価額にはプラスとなりました。また、ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、短期ハイイールド債、シニアローン債、米ドル建投資適格社債などが主なプラスとなりました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、＋1.1%となりました。一方、米ドル円レートは＋4.7%の米ドル高となりました。

期初から2024年４月にかけて、欧米では、好調な景気指標やインフレ高止まりなどを受けて金利が上昇傾向となりました。日本では、欧米の金利上昇に加え、日銀による金融緩和策の正常化観測などを背景に金利が上昇しました。３月の日銀金融政策決定会合では金融緩和策の解除が決定されました。５月から９月にかけては、ECB（欧州中央銀行）による利下げの決定や、米国においてインフレ鈍化が示されたこと、景気後退懸念により株価が一時急落したことなどから、米国や欧州の長期金利が低下しました。日本では、日銀の金融政策の動向をにらみつつ、金利はもみ合いとなりました。10月以降は、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測が後退したことや、インフレ的な政策を掲げるトランプ氏が米国大統領選挙で勝利したことなどを受け、米国の金利は上昇基調となりました。欧州では、ECBによる利下げ観測などを背景に金利が低下する局面があったものの、ユーロ圏のインフレ高止まりや米国金利上昇などを背景に金利は上昇しました。日本では、欧米の金利上昇に加え、日銀の利上げ観測などを背景に金利が上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の高金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2024年２月１日～2025年１月31日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	6	0.038	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(6)	(0.038)	
(b) 有価証券取引税	0	0.001	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	5	0.034	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	11	0.073	
期中の平均基準価額は、15,012円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2024年２月１日～2025年１月31日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
外国	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	17,727	1,919	2,614	284
	ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	45,366	4,043	－	－
	ISHARES INTERNATIONAL TREASU	2,658	105	13,826	563
	ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	9,098	699	9,098	727
	ISHARES MBS ETF	19,648	1,816	2,970	276
	ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	14,903	768	23,306	1,203
	SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	36,448	1,519	20,602	856
	SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	29,376	740	3,862	97
	VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	31,297	1,821	46,944	2,736
	小計	206,521	13,434	123,222	6,745

（注）金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

（2024年２月１日～2025年１月31日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年１月31日現在）

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA		39,501	54,614	5,887	909,273	24.1
ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO		－	45,366	4,007	618,898	16.4
ISHARES INTERNATIONAL TREASU		11,168	－	－	－	－
ISHARES MBS ETF		34,751	51,429	4,748	733,301	19.4
ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP		33,742	25,339	1,318	203,559	5.4
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF		41,142	56,988	2,392	369,539	9.8
SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH		68,413	93,927	2,405	371,476	9.8
VANGUARD SHORT-TERM TREASURY		70,250	54,603	3,188	492,448	13.1
合計	口数・金額	298,967	382,266	23,949	3,698,498	
	銘柄数<比率>	7	7	－	<98.0%>	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

（2025年１月31日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,698,498	98.0
コール・ローン等、その他	74,876	2.0
投資信託財産総額	3,773,374	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）当期末における外貨建純資産（3,700,398千円）の投資信託財産総額（3,773,374千円）に対する比率は98.1％です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝154.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年１月31日現在)

項　　目	当　期　末
	円
(A) 資産	3,773,374,878
コール・ローン等	74,876,153
投資信託受益証券(評価額)	3,698,498,725
(B) 負債	1,095,007
未払解約金	1,095,007
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	3,772,279,871
元本	2,418,277,928
次期繰越損益金	1,354,001,943
(D) 受益権総口数	2,418,277,928口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	15,599円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,812,416,335円、期中追加設定元本額は749,476,720円、期中一部解約元本額は143,615,127円です。

(注) 2025年１月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・THEO インカム・ＡＩファンド（世界の債券中心） 1,757,514,794円
・おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心） 602,329,892円
・THEOベスト・バランス・ファンド 58,433,242円

(注) １口当たり純資産額は1.5599円です。

○損益の状況 (2024年２月１日～2025年１月31日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	152,075,855
受取配当金	151,930,204
受取利息	145,651
(B) 有価証券売買損益	122,184,227
売買益	151,551,775
売買損	△ 29,367,548
(C) 保管費用等	△ 1,102,880
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	273,157,202
(E) 前期繰越損益金	776,873,970
(F) 追加信託差損益金	375,207,301
(G) 解約差損益金	△ 71,236,530
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	1,354,001,943
次期繰越損益金(Ｈ)	1,354,001,943

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。